Medical Technology News

臨床検査室新聞

２０１６年 １１月
第６７号
発行元　八雲総合病院
臨床検査室

女性に多い膀胱炎

●膀胱炎って？

いくつか種類がありますが、多くは細菌感染が原因となる急性膀胱炎です。女性の二人に一人が経験すると言われています。症状は頻尿、残尿感、排尿の終わり頃の痛み、腹部の不快感などです。

●なぜ女性に多いの？

腸内の細菌が肛門から尿道を通り、膀胱へ侵入・増殖することで発症します。女性は男性と比べて尿道が短いため細菌が侵入しやすく、発症しやすいです。

●検査方法

尿を遠心分離して沈んだものを顕微鏡で観察します。急性膀胱炎の場合、白血球が増加し、細菌を認めます。治療には抗菌薬を使用するので、細菌培養同定検査（細菌の種類の判別）と薬剤感受性検査（どの薬が効くか）を実施します。

●予後

急性膀胱炎は抗菌薬で速やかに治療できますが、放っておくと腎臓まで細菌が侵入して急性腎盂腎炎になることもあります。症状が治まっても細菌が残っていることがあるので、処方された薬は最後まで飲み切りましょう。また、再発しやすいため日頃の予防が大切です。

●予防法

・**水分を多くとる**→尿量を増やし尿と一緒に、侵入した細菌を流します。

・**トイレを我慢しない**→尿がたまっている時間を短くして細菌を増やさないようにします。

・**トイレの後の拭き方**→尿道に細菌が入り込まないように前から後ろに向かって拭くようにしましょう。

・**お通じを良くする**→便秘になると腸内に細菌が増え、感染しやすくなります。

「膀胱炎かも…けど泌尿器科は恥ずかしい…」そんな時は内科でも検査・治療ができます。

LOOK

物忘れチェック

先日の１１月３日に八雲町の「全病院町一日健康の集い」に八雲総合検査室のコメディカル部門として検査機械をまもつけるのに用いられ、アルツハイマー型認知症の症状を使い「物忘れチェック」を行いました。この機械は認知症知物忘れの目的のものです。

当日は、小雨が降り寒い中、町民のさりげなくさん参加し、会場内は熱気で温かく感じられるくらいでした。検査室のブースでは３２人の方が検査を体験し、お話しをしながら、楽しく検査を進めさせていただきました。

当日の様子

チェック！ テーマ 胆石症

胆汁が通る道を胆道と呼びますが、胆道に結石ができる病気を総称して胆石症と呼びます。結石ができる場所によって、肝内結石、胆管結石、胆のう結石に分類されます。胆のう結石は胆石症の約８０％を占めています。日本人の胆石保有率は年々増加しており、現在では成人の10人に1人は胆石を持っているとされています。性別では、男性に比べ女性に多い傾向にあります。

胆石はその成分により、コレステロール系結石、色素結石（ビリルビンカルシウム系結石、黒色結石）、その他まれな胆石に分類されます。

1・コレステロール系結石

高脂肪食や肥満、脂質異常症、糖尿病などが原因で胆汁中のコレステロールの量が増えると、余分なコレステロールが胆汁中で結晶化し、結石ができます。

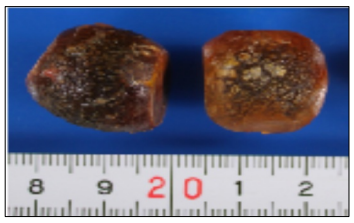
2・色素結石

ビリルビンカルシウム系結石は胆汁中の細菌の酵素により胆汁の色素成分であるビリルビンが変化し、これにカルシウムが結合して結石ができます。

また、黒色結石は溶血性貧血や肝硬変が原因でビリルビンが上昇すると、カルシウムや銅などの金属元素と結合して、結石ができやすくなるといわれています。

胆石症の診断には腹部超音波検査やCT検査が有効です。

胆石症の予防には、過労やストレスをさけて、定期的に適度な運動をすることや、脂肪分の多い食物や過食を避け、規則正しい食生活を送ることが大切です。



実際に摘出された結石

ほっと time

お知らせ

１０月より超音波検査後に身体をふく温かいおしぼりを提供しています。温かいおしぼりで、さっぱりして検査を終えることができるようになりました。

検査の基本

鼻汁好酸球検査

好酸球はアレルギー疾患で血中に増加することが知られていますが、アレルギー性鼻炎では血中よりむしろ鼻粘膜での増加が著明です。また、細菌感染・ウイルス感染では好中球が増加します。

本検査は、鼻炎が感染症かアレルギーか判断するのに行います。鼻汁中の好酸球の有無や出現の程度を顕微鏡で観察します。

編集後記

去年の今頃は、新棟引っ越しに向けてドタバタだったことを考えると、時が過ぎるのは早いものです。

また冬がやってきてしまいます…雪かき頑張りましょう！